

上越市における人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定イメージ

上越市まち・ひと・しごと創生長期ビジョン (人口ビジョン)

1 人口の現状と将来見通し

- ◆市の総人口は、昭和22年をピークに長期的に減少傾向
- ◆市全体での人口減少と高齢化、少子化が同時進行
- ◆人口の自然減と社会減が同時進行

《主なデータ》

○現状
 【平成22年】約20万4千人
 高齢者:26.5% 年少者:13.7%

○将来推計人口と年齢構成
 【平成37年】約18万2千人
 高齢者:34.0% 年少者:11.3%
 【平成52年】約15万6千人
 高齢者:37.8% 年少者:10.6%

○人口動態の現状と見通し
 【平成26年】△1,702人/年
 ①自然増減:△1,001人/年
 ・死亡:2,419人/年
 ・出生:1,418人/年

◆自然減は、高齢化による死亡数の増加、出産適齢期の女性数の減少が見込まれ、出生率が向上したとしても出生数の劇的な増加は困難

自然減は不可避

(参考)
 合計特殊出生率
 【平成25年】
 上越市:1.68
 新潟県:1.44
 全国:1.43

②社会増減:△701人/年
 ・転出:4,943人/年
 ・転入:4,242人/年

◆若者の進学のための転出は不可避

(参考)
 上越市の高校卒業者の進路
 【平成25年】卒業者:1,700人
 ・大学・短大等:654人
 ・専修学校:498人
 ・就職者:491人
 ・その他:57人

市内高校生の地元就職率
 【平成25年】78.6%

2 人口問題に対する基本認識

2-1 人口減少の背景

- ◆人口減少は、様々な要素が重なり合って生じている

○自然減
 ・結婚や出産、子育てなどに対する個人の価値観やライフスタイル、社会経済情勢の変化 など

○社会減
 ・地域の産業、雇用、教育、福祉等まちの社会経済基盤や暮らしやすさ、社会経済情勢の変化 など

《主なデータ》

○婚姻・離婚件数
 【平成17年】
 婚姻:1,026件/年 離婚:313件/年
 【平成25年】
 婚姻:837件/年 離婚:282件/年

○有効求人倍率
 平成21年:0.33 平成25年:0.86

○正社員割合
 平成8年:78%
 平成13年:74%
 平成18年:69%
 平成24年:62%

3 まちの将来展望

3-1 「地方創生」により目指すまちの姿

- ◆人口減少を前提としつつ、人口減少傾向を緩和し、持続可能なまちづくりを目指す
- ・まちの魅力高め減少傾向を緩和するとともに人口減少に伴うマイナス影響を緩和・解消する
- ・国立社会保障・人口問題研究所における将来推計人口を下回らない状態を目指す
- ◆地方創生で目指すまちの姿は、第6次総合計画の将来都市像と重なる部分が多い
- ・若者・子育て世代にとって、「選ばれるまち」「住み続けたいまち」を目指す
- ◆上越市における地方創生の取組では、「若者が家庭を築き、心豊かな家族生活を営めるまち」としての魅力を中心に高めていく

3-2 上越市における「地方創生」の基本方針

- ◆地域を挙げて総合的に取り組む
- ・様々な要素が折り重なって生じている人口減少には総合的な政策・施策の展開が肝要
- ・地方創生による「まち・ひと・しごと」の好循環を形成することは、第6次総合計画の将来都市像の実現に必要な条件の一つ
- ・複合的な課題に対応するため、市政全体、さらには市民・事業者等も含めた分野横断的な取組が有効

キーワードは
「チャレンジ」と「つながり」

《チャレンジ》
 ○まちの活力を高め、まちの輝きを強くするための「チャレンジ」を生み出す
 ・まちづくり、しごとづくり、ものづくりなどの意欲的な取組を生み出し、まちの活力と魅力を高める

《つながり》
 ○多様な「つながり」を創出する
 ・様々な「つながり」を再構築するとともに、新たに生み出すことでまちの暮らしやすさと魅力を高める

2-2 人口の変化が地域の将来に与える影響

- ◆人口減少は、市民生活や地域経済、行財政運営の様々な場面において、大きな影響を及ぼす問題

(例) ・労働力や購買力の減少など
 ・地域の活力の減退
 ・税収の減少
 ・社会保障経費の増加 など

2-3 人口減少問題のとらえ方

- ◆人口減少の劇的な改善は困難
- ◆今後加速度的に進む人口減少

地方創生の取組が必要

上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (地方版総合戦略)

1 戦略の位置付け

○長期ビジョンを受けて、平成27年度～31年度までの5年間で実施する取組と目標を示す

2 地方創生に向けた取組

○国の総合戦略の目標と四つの政策パッケージを踏まえ、上越市における地方創生に向けた取組をまとめる

○「しごと」「結婚・出産・子育て」「まちの活性化」「UIターンと交流」の四つの分野で「産・学・金・労・官・民」の取組を位置付ける

○各分野ごとに目標、取組方向、具体的な施策、KPI、施策を構成する事業、各主体の役割・関係性等をとりまとめる

上越市の「まちの力」を最大限に発揮させていくことができるように
 地域の特色や資源を生かした取組を以下の四分野で進める

【分野1】 しごとづくり

(目標) 安定的で魅力のある雇用を創出する

(主な取組)
 ・地域産業の競争力強化
 ・農林水産業の成長産業化
 ・観光を通じた地域経済の活性化
 ・人材育成・確保 など

【分野2】 結婚・出産・子育て

(目標) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境を整える

(主な取組)
 ・若い世代の経済的安定
 ・結婚・出産・子育てへの切れ目のないサポート
 ・仕事と生活の調和 など

【分野3】 まちの活性化

(目標) 時代に合った地域を形成し、地域間連携を活発化させる

(主な取組)
 ・地域の担い手の育成
 ・中山間地域、中心市街地等の活性化
 ・公共施設・空き家の利用促進
 ・地域間連携の促進 など

(主な取組)
 ・上越市への移住の促進(定住人口)
 ・まちの広域的な拠点性の強化(交流人口) など

【分野4】UIターンとまちの拠点性

(目標) 上越市への多様な人の流れを創出する

※分野4は、分野1～3の結果として達成される目標として位置付け、それぞれ関連する取組を再掲する

3 戦略の推進に当たって

○「上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会」におけるPDCAサイクルでの進捗管理